

楽しみながら「多様な動きづくり」と「人間関係・チーム・学級づくり」 ～子どもたちの意欲や動きを引き出すための手立てや声かけを体験しましょう!!～

小学校教員・スポーツ推進委員・スポーツクラブ等で指導者されている方々10名が参加してくださいました。始めに短時間、スポーツの楽しさや目指す姿等を確認した後、参加者全員で実際に体を動かしながら、ペアやグループ、全体と集団の大きさに合わせた動きや運動を体験しました。

講師からは、「指導する側がねらいをはっきりさせることにより、子どもへのアプローチの仕方が変わってきます。人間関係や関わりをつくる場合、子どもの表情やしぐさ、言葉などから良さを認め、共有していくことが大切です」という指導のポイントとともに、関わり合いを仕組む中で、触れ合っただけでなく「どんな気持ちだった？」と心の共有も大切にすることも学びました。



以下、参加者からの感想です。

- ・改めてスポーツの技術を磨くのではなく、楽しみながら身体を鍛えていくこと、一体感、コミュニケーションなど指導者の意識を変えることが必要だと感じました。どの子どもも楽しかったと思えるように授業を考えたいと思います。子ども目線を大事にしたいと思います。（小学校教諭）
- ・声かけが価値づけとなるということが大きな気づきでした。（スポーツクラブ指導者）
- ・二人組の作り方やストレッチのやり方がこんなにも選択肢があるとは思わず驚きました。自チームでも取り入れていきたいです。（スポーツクラブ指導者）

笑い声と温かい言葉が飛び交う心地よい時間になりました。参加者の皆さんありがとうございました。来年度も多くの皆様のご参加をよろしく申し上げます。

（南信教育事務所飯田事務所 原）